

評価基準

審査項目	評価基準	配点		様式	
		第1次 審査	第2次 審査		
参加者の実績	参加者の同種業務の完了実績を評価する。評価は実績1件ごとに次の基準で行う。 同種業務の完了実績 [0.2] 上記を実績1件ごとの評価とし、記載のあった実績5件までの合計を本評価項目の評価値とする。	10	—	様式 第3号	
担当チーム の能力	管理技術者、照査技術者及び担当技術者の同種業務の完了実績を評価する。 評価は実績1件ごとに次の基準で行う。 A.同種業務の完了実績 [0.2] B.携わった立場 ◇管理技術者の場合 管理技術者の立場で携わったもの [1.0] 担当技術者の立場で携わったもの [0.5] ◇照査技術者の場合 照査技術者の立場で携わったもの [1.0] 管理技術者の立場で携わったもの [0.5] ◇担当技術者の場合 管理技術者の立場で携わったもの [1.0] 担当技術者の立場で携わったもの [0.5] 上記の基準に基づき [A×B] を実績1件ごとの評価とし、記載のあった実績5件までの合計を、本評価項目の評価値とする。	管理技術者	5	様式 第4号	
		照査技術者	5	—	様式 第5号
		担当技術者	5	—	様式 第6号
業務実施体制	人員配置、チェック体制、バックアップ体制等の取組体制について評価する。 評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、低い [0.4]、無評価 [0.0]	—	10	任意 (提案書)	
業務実施 スケジュール	スケジュールの妥当性、実現性、スケジュール短縮の工夫等について評価する。 評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、低い [0.4]、無評価 [0.0]	—	20	任意 (提案書)	
業務実施手法	業務に対する知見、手法等（業務実施にあたり留意すべき点の抽出及びその対応策の提案、業務の円滑化に関する提案）を評価する。 評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、低い [0.4]、無評価 [0.0]	—	20	任意 (提案書)	
ヒアリング	取組姿勢、コミュニケーション能力等を評価する。 評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、低い [0.4]、無評価 [0.0]	—	10	—	
参考見積	配点×最低参考見積金額÷参考見積金額 本プロポーザル参加者のうち最低参考見積金額を満点とし、他の提案者を相対的に評価する。少数の取り扱いは小数第1位を切り捨てる。	—	15	任意 様式	
小 計		25	75	—	
合 計		100		—	

※上表中 [] を評価値とする。

※ [評価値] × 配点 を各審査項目の得点とし、各審査項目の得点を合計した総得点が最も高い者を優先交渉権者として決定する。